



と い ち

平成24年6月29日
新宿区立戸塚第一小学校
校長 小林 幹夫
No.4

有意義な夏休みを

校長 小林 幹夫

早いもので間もなく1学期が終わろうとしています。子供たちは1学期間の学校生活を通して、教科の学習はもちろんのこと、学級内の友達関係を深めたり、異学年や地域の方々とのかかわりを大切にしたり、多くのことを学んできたと思います。さらには、遠足や社会科見学等の校外学習、地域の方との全校活動、そして6年生の館山移動教室など、各学年の特色を生かしながら様々な体験を積み重ねてきました。

また、5・6年生は、8月19日から21日の3日間夏季施設として西湖（津原キャンプ場）での宿泊体験も予定されています。この体験を通して、また一回り大きくなるのではないのでしょうか。

保護者の方も、お子様の成長を感じていることも多いことと思います。来月には、保護者会、そして夏休みに入ってから個人面談も予定しています。お子様の成長した姿や今後の成長に向けての課題や思い、願いなどを率直に担任と話し合っていただきたいと思います。特に、1学期に学習した内容等に不安や不十分さを感じるところがありましたら、この夏休みの時期を有効に活用し、確実に身に付けられるよう支援してあげることが大切です。どうぞ、この機会を大切にしてください。

近年、都市化や少子化などの影響もあり、地域社会における人間関係の希薄化など、多くの人や社会、自然などとの直接ふれあう体験の機会が乏しくなっていると言われていています。その一方で、情報化社会の進展の中での間接体験や、コンピュータを使用した疑似体験も高度に発達してきました。

子供たちの直接体験の減少が、なぜ問題になっているのでしょうか。子供は、体験活動を通して、現実の世界や生活に向き合い、人や社会、自然とのかかわりの中で、素晴らしい感動や、時には挫折などの心の体験を通して、「どう行動し、振る舞うか。どう生きるか。」といった暮らし方や振る舞い方などを考えながら成長していきます。

このような場面に会える機会が少ないままでは、人や社会とよりよくかかわる力を高めたり、豊かな人間性をはぐくんだりしていくことが難しいと思います。

子供の個性や興味・関心、体験活動の状況などはみな違いますが、生活体験や自然体験などの体験活動の機会を豊かにすることは極めて重要といえます。今年の夏休みは、子供たちにとって有意義な直接体験の機会の場となるよう計画してみたいと思います。

全校活動



6月15日（金）学校公開2日目に全校活動を行いました。

毎年、戸塚第一小学校では、兄弟学年が交流を深め、一緒に活動することを楽しんでいます。今年は、創作活動を行うことになり、1年生と6年生がキャンドル作り、2年生と4年生が焼き物、3年生と5年生が折り紙をしました。学校公開中の活動でありましたので、子供たちの活動の様子をじっくりとご覧いただけたのではないかと思います。上学年がやさしく下学年に関わる姿が大変微笑ましく、あたたかな気持ちになる1日でした。



7月の行事予定

日	曜	朝会・集会	学校行事等	下校
1	日			
2	月	朝会	保護者会(1・2・3)	3:35
3	火		保護者会(4・5・6)	3:35
4	水		午前授業 早時程	1:05
5	木		東京都学力調査(5) 委員会	3:35
6	金	集会	歯の学習(1~3年・幼) 9:30~	3:35
7	土			
8	日			
9	月	朝会	安全指導	3:35
10	火		避難訓練 ※木曜日が校内研のためクラブあり	3:35
11	水			2:25
12	木	たて③		1:20
13	金	音楽④	ピカピカウィーク	3:35
14	土			
15	日		↓	
16	月		海の日	
17	火		着衣泳	3:35
18	水	生活	大掃除	2:25
19	木		給食終 5時間授業	2:45
20	金		終業式 早時程 午前授業	12:20
21	土		夏季休業日始	
22	日			
23	月		夏季水泳指導① 個人面談(始)	
24	火		夏季水泳指導②	
25	水		夏季水泳指導③	
26	木		夏季水泳指導④	
27	金		夏季水泳指導⑤	
28	土			
29	日			
30	月		夏季水泳指導⑥	
31	火		夏季水泳指導⑦	

校内研究

本校では、昨年度より、国語科の「書くこと」の領域の指導を中心に「書く力」を育てる研究を進め、「筋道を立てて考える力の育成」に迫っています。

研究1年目であった昨年度は、書く学習が楽しい感じる子供たちが増えたことが大きな成果となりました。それは、いろいろな作文の書き方が分かるとともに、書いたものを読んでもらえた、認められた、また、友達の書いたものを読んで楽しかったという実感から生まれたのだと考えています。

今年度は、授業研究と合わせ、日常的にも書く活動に取り組み、使える語彙や言い回しを増やしたり、書くことに慣れたりできるようにし、自分の考えを筋道立てて相手に分かりやすく伝えられる子供たちが増えるよう、さらに研究を深めていきたいと考えています。



算数少人数について

4、5、6年生と算数ルームで過ごして3か月が経ちました。休み時間にも質問に来たり、友だちと相談したりする子どもたちを見ていると、どんな子も「分かりたい!」という気持ちを持っていると改めて感じました。その気持ちに応えるべく、日々の学習準備をしています。

5年生で複合立体の体積を求める学習をしました。「他の友だちが思いつかない方法で求めてみよう。」と投げかけると、夢中になって幾通りも考える子どもたち。友だちの考えを聞いて「そんな方法もあったのか。」とつぶやいたり、「こっちの方が簡単だ。」とよさを見付けたりしていました。始めに問題に一人で向き合っじっくり考えることは、友だちの考えを理解する力につながると実感させられた場面でした。

これからも一人一人が達成感を味わえるように学習を進めていきたいと思ひます。

7月の生活目標

みんなで使うものを大切にしよう